



学校だより



令和8年 1月8日
1月号
調布市立第一小学校
校長 樋川 宣登志

<http://www.chofu-schools.jp/chofu-1sho> Tel.042(481)7636

幸せな一年を願い

校長 樋川 宣登志

2026年。新しい年が始まりました。

元旦の静かで冷たい空気に気持ちが引きしまり、新たな年への願いを強くします。皆様、ご家族の笑顔あふれる一年になることを、子どもたちが幸せを感じる一年になることを祈念いたします。

本年も、教職員一同、力を尽くしてまいります。よろしく願いいたします。

さて、「子どもたちが幸せを感じる一年」と書いていて、昨年発表された、ユニセフによる「子どもの幸福度」の報告(*)を思い出します。ここで述べられる「幸福度」とは、「①精神的幸福度②身体的健康③スキル」3つの分野を調査・分析し総合したものです。①～③は、「心」「体」「教育」と言い換えるとわかりやすいかもしれません。

この報告で、日本の子どもたちの「幸福度」総合順位は、36 か国中14位でした。これを高いと見るか低いと見るかは意見が分かれるかと思います。けれど、3分野それぞれを見ると「精神的幸福度32位」「身体的健康1位」「スキル12位」とあり、精神的幸福度の低さがあまりに目を引き、考えさせられました。

この結果の理由について様々な意見が交わされていますが、多く語られるところが「競争や評価が厳しい社会環境」「同調圧力」「自己肯定感の低さ」などです。日本の社会や学校では、「みんなと同じでないと」という風潮や、「失敗したらダメ」という空気が強いことは否めません。

子どもたちが、「自分の在り様は受け止められている」「自分は自分のままで大切にされている」と感じて安心して生き生きと成長していくためには、わたしたち大人の意識を変えていくことが必要だと考えます。

学校では、一人一人の子どもに目を向け、個性やよさを伸ばしていきたいと考えています。「クラスは、自分の意見を受け止めてもらえるところ」「教室は、失敗して大丈夫な場所」、そう子どもたちが感じられる学校づくりに努めます。そのためには、ご家庭の協力がなくてはなりません。今年も、手を携えて子どもたちの成長の力となるよう、お願いいたします。

*「レポートカード19:予測できない世界における
子どものウェルビーイング」

【今年行われる工事について】

今年は、施設設備の修理・工事が多く予定されています。

1月になり、古くなったプール水槽の工事が始まりました。

7月から令和9年2月にかけて、校庭の体育倉庫・防災倉庫の場所に市の多目的施設を建設し、それとともないそれらの倉庫やのぼり棒等の移設があります。安全確保や校庭使用の制限について、随時ご連絡いたしますのでご承知おきください。

なお、校庭の桜の木については、樹木医の診断の結果、老木のため移設はせずに伐採し、場所を変えて新しい苗木を植えます。周年行事記念の桜については、現在のまま変わりありません。